

日本の国際関係・貿易 ～グローバルとローカルの双方向の視点から～

教授 所 康 弘

1. 研究内容

私たちの生きること、働くことは、グローバルな世界と強くむすびついています。

スーパーには外国産品のモノであふれ、私たちが着ているものも、その多くが外国で作られています。

多種の食やファッションを楽しむことができる背景には、なにがあるのでしょうか？

良好な国際関係と貿易の深まりです。ゆえに、私たちの生活は彩り鮮やかになっています。

ところが、近年、公正な貿易（“Fair Trade”）や「持続可能な開発目標」（SDGs：Sustainable Development Goals）の重要性がさかんに叫ばれています。

なぜ、これまでどおりの「普通の」貿易ではダメなのでしょう？

また国際ニュースでは、国家間の貿易対立や「グローバル化の限界」にかんする話題が噴出しています。

たとえば、①新型コロナウイルスが国際貿易へ与えた影響について。②トランプ政権による「米国第一主義」の通商政策について。③イギリスのEU離脱について。④米国・中国の貿易戦争・貿易摩擦について。

今ほど、「グローバル化、国際関係・貿易」を学び、その新しい未来像を展望し、構想していくことが求められる時代はありません。

グローバルな貿易・国際分業を促進し、効率性・国際競争力を追求するだけでなく、「持続可能な」地域循環型社会を再構築し、どのようにグローバルとローカルの均衡（バランス）をとっていくべきか？

本ゼミは、外国大使館や外資系企業、海外大学との共同プロジェクトをつうじて、実践的に学びます。

2. ゼミの進め方

《2年次》

春学期はグローバル化にかんする入門書を輪読します。夏期合宿を実施します。

秋学期はグループ研究。プレゼンの表現能力を高めます。希望者は外国語プレゼンも実施可能。（※2019年度はメキシコ大使館で英語と日本語によるプレゼン、コロンビア大使館で英語によるプレゼンを実施しました）。2020年度の秋学期は、キューバ大使館と共同プロジェクトをすすめます。

《3年次》

春・秋学期ともグループ研究を実施します。☞ プロジェクト（実施例）：①社会貢献型（フェアトレード・ビジネスと普及にかんする調査、フィエスタ・メヒカーナ@お台場での実践販売）、②課題発見型（外国航空会社と共同研究・公認インスタグラムの運営、川崎市や成田市など市役所でのプレゼンなど）、③グローバル対応型（海外の大学生とのオンライン型の共同研究&外国語プレゼン）。

《4年次》

春・秋学期とも卒業論文作成に向けて個人研究をすすめます。卒業合宿を実施します。2022年1～2月は卒業旅行もかねて、キューバ政府・国連ユネスコ主催の国際会議で研究発表を予定（参加は希望制です）。

3. 教材

参考教材：所ゼミと外国航空会社（アエロメヒコ航空）で運営するインスタグラムによる公認サイト：
https://www.instagram.com/aeromexico_meijiuniv/

4. 成績評価の方法

ゼミに取りくむ態度、研究発表の内容、グループワークへの貢献度（コミットメント）で判断します。

5. ゼミ入室試験（選考方法）

選考方法につきましては、Oh-o! Meijiにて、後日連絡します。

6. その他・志願者へのメッセージなど

校外学習、異文化理解・体験、外部機関（外国大使館など）とのグループワークをさかんに行いますので、積極性と自主性と協調性のある、多様な学生の入室を希望します。外国語の得意、苦手は問いません。